

2019年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	149420003	事業の開始年月日	平成22年12月16日	
		指定年月日	平成22年12月16日	
法人名	株式会社 メディカルケアシステム			
事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘			
所在地	(243-0410)			
	神奈川県海老名市杉久保北2-18-25			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	令和1年9月5日	評価結果 市町村受理日	令和1年12月16日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の意思を尊重し、ご家族様のニーズに応えながら、専門の職員が24時間体制で、きめ細やかな介護を行ってまいります。医療連携も充実しており、訪問医と看護師が入居者様の体調管理を行っています。菜園では四季の野菜を種植えから収穫、調理までを入居者様と職員が一緒に行い楽しんでいきます。レクリエーションにおいても、五感に働きかける催し物や外出レクを行い、四季を感じて頂く事を大切にしています。地域開催の盆踊りや夏祭り、他施設の催しにも参加し、地域交流を深め、地域連携や自立支援を大切にしております。日々のケアでは入居者様本意の介護を主とし、物事を選択できるような環境作りを行い、職員と一緒に物事を楽しめるよう支援を行っております。運営推進会議では御入居者様とご家族様、外部の方が全員で楽しめるレクリエーションと同時に開催し、ホームの様子を実際に体験して頂いております。家族会も年に2回行い、一緒にレクリエーションを楽しむ他にご家族様が気軽に何でも言える関係を築いております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和1年10月11日	評価機関 評価決定日	令和1年11月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、小田急線及び相模鉄道線「海老名駅」から10分程度バスに乗り、バス停から4分の閑静な住宅街にあります。平成22年に開設した定員18人2ユニットのグループホームです。職員は入居者との信頼関係を大切にし、家族とコミュニケーションを図り、入居者が生きる喜びを感じて快適な生活を送れるように支援しています。

<優れている点>

事業所全体に温かい雰囲気があります。入居者は何でも気軽に職員に相談しています。職員同士の協力関係や笑顔が、入居者の安心と笑顔に繋がっています。「思いやり」「温かさ」「笑顔」「居心地」の循環の中での入居者支援を今年度の事業所スローガンに掲げています。職員はパートナーとの意識を持ち、入居者の生きる喜びと快適な生活の実現を目指しています。食後の洗い物を率先して引き受けている入居者のいきいきとした表情などを、担当職員が書き留め、毎月手紙で送り、家族から感謝の言葉が返ってきています。年に2回、レクリエーションと組み合わせた家族会を開催しています。今年8月の家族会には57名が参加し、家族との連携が入居者の気持ちの安定に繋がっています。

<工夫点>

家族会と合同で運営推進会議を開催しています。入居者と家族及び自治会や民生委員など地域の人たちと情報交換を図ることで、入居者は地域住民の一人としての生活感につながっています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念を掲げたクレドカードを毎朝の申し送り後、声を出して読むことにより、職員同士確認を行いながら日々の業務に取り入れ、浸透するように努めております。また、全体会議、フロア会議にての落とし込みを行っております。	『小さな手でも、手を取り合えば助け合いの「愛・心・結び」が生まれます』と謳った介護理念を掲げています。毎日理念を唱和し、実践に向けて注意を喚起しています。また、年度ごとに理念の実現に向けたスローガンを定め、職員の意識の強化を図っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に加入し、回覧板を頂く事で、地域での催し物や他の施設の行事などに参加させて頂いたり、ホーム内のレクの参加の声かけを行っております。コミュニティーセンター様、自治会様からは良く椅子などをレンタルし、レクへの参加のお誘いをしています。	花見や夏の盆踊り、地域のコミュニティーセンター祭り、消防訓練などの地域行事に積極的に参加しています。また、夏祭りの縁日や冬のクリスマスなど事業所の行事に地域の人たちの参加を呼びかけ、交流を図っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	職員に認知症について日々のケアの中や全体会議、フロア会議などで勉強会を設けて実践内容を学び、いつでも活かせるように理解度を深めております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	自治会の役員、民生委員、海老名市役所高齢介護課、地域包括支援センター、職員、ご家族、ホーム職員で運営推進会議を開催し情報交換や助言を頂きながら行っております。また、市議会議員の方からも参加したいとのお声を頂いております。	隔月に運営推進会議を開催し、自治会々長や民生委員、市職員、地域包括支援センター職員、入居者家族などが参加しています。家族会と事業所のレクリエーションと併せて開催することで、事業所運営や入居者支援に関する地域や家族の理解につながっています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議の案内状と議事録の作成時には直接海老名市役所へ出向き、ホームの状況を説明させていただいております。また、市役所で行う合同説明会には必ず参加し、情報共有を行っております。	市の介護保険制度などの変更に関する勉強会や管理者の意見交換会に参加し、ニーズの把握に努めています。市役所や地域包括支援センター職員、地域のケアマネジャーと連携し、入居者受け入れに関する情報共有を図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	門扉を開放しておりますので、玄関は施錠をしております。1階と2階のフロアを自由に行き来できるようにフロアの出入り口の施錠は行っておりません。3ヵ月に一回身体拘束に関しての会議を開催し、職員に周知しております。身体拘束は行っていません。	「身体拘束廃止に関する指針」を作成し、拘束をしないケアの実践に努めています。3ヶ月ごとに全体職員会議で高齢者虐待と身体拘束について話し合い、スピーチロックなど身体拘束について職員の意識の徹底を図っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月全体会議、フロア会議を開催し、虐待について検討を行っております。管理者はホーム内での虐待の見逃しが無いかを日々確認しております。小さな打ち身も見つけた時はヒヤリハット報告書を作成し検討、周知を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を必要とするケースには、管理者が対応しております。必要に応じて随時職員に説明を行い、利用者の支援に結びつけております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には時間をかけて契約書、重要事項説明書を説明し、不安や疑問を伺い回答させていただいた上でご理解、納得をしていただき、同意書をいただいております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会において意見をいただいております。来訪された際やお電話でもご意見を頂いております。頂いた意見は全体会議の議題として検討を行っております。	入居者一人ひとりの日々の生活の状況や行事の参加の様子などを毎月手紙で家族に伝え、コミュニケーションを図っています。年2回事業所行事と併せて家族会を実施し、入居者の生活の様子を見てもらい、家族の思いや意見の把握に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	随時、職員に声を掛け、傾聴を行っております。毎月1階と2階のフロア会議を行い、意見や提案を発言していただいております。また、職員が何でも意見を言えるような関係を築いております。	毎月の職員会議で職員のサービス改善に関する意見の共有を図っています。入居者に優しいレクリエーションの提案など多数の意見が寄せられています。また、看取りや接遇、虐待問題など毎月テーマを決めて勉強会を開催し、職員の意識や支援技術の向上を図っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員のストレスや疲労の要因に気を配りながら声かけを行い、日々の様子に注意を払っております。また、職員のやりがいに繋がるようにパート職員の社員昇給も行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修の情報集めに努め、職員の力量に応じ研修参加を促し、勤務状況を調整しています。介護技術の向上においてはミーティングで説明を行ったり、実践の中で一緒に取り組みながら指導を行っております。また疑問を口に出せる環境作りを行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	近隣のグループホームの催し物や高齢者施設での催し物に参加させていただき、同業者との交流を行っております。グループホームの管理者同士が気軽に意見交換できるよう努めております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	御入居までの生活状態の把握とご本人の意向、思いを考慮したケアを行い、安心して生活して頂けるように職員との関係づくりを大切に、何でも言って頂けるような関係作りを行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様が求めているものや苦勞、困っていること、これまでの経緯についてゆっくりと話を伺い、事業所としてはどのような対応ができるか、その都度色々な情報を伝えながらご家族様との信頼関係づくりを行っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様やご家族様の思い、その時の状況等を確認し、安心して頂き、納得してご利用していただけるよう可能な限り柔軟なサービスの情報提供を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご入居者様を人生の先輩という共通の認識のもと、日々の生活で喜怒哀楽を共にし、信頼関係を築けるように努めております。できる事を奪わず、出来る事はご自身で行って頂き、出来ない事をさり気なくお手伝いさせていただきます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	居室担当を決め、職員がご家族様に日々の様子や心身の変化を手紙にしたため、毎月お伝えしていく事でご家族様と情報の共有を行っております。ご家族様来訪時には誰もがご家族様に状況を説明できる関係を築いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご入居者様が築き上げてきた交流関係を把握していき、訪問時には楽しい時間を過ごして頂けるようにしております。また、ご入居前に行っていた活動もそのまま継続できるよう支援を行っております。	入居以前からの友人関係を継続している入居者がいて、友人が毎月のように来訪しています。近隣に自宅があり、地域の顔馴染みの住人が時々訪れている入居者もいます。職員は笑顔で心がけ、友人知人がいつでも訪問しやすい雰囲気作りに努めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活で楽しい時間を過ごしていただく為、ご利用者様同士の関係性を職員が共有し、レクリエーションや食事などお席へ誘導する際には親しいご入居者様同士が近くのお席になるように努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他の事業所に移られたご入居者様が不安なく継続性を持って生活できるようにアセスメントを細かく作成し、情報提供を行い、連絡があった際は速やかに対応して連携できるように努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様がご自分で選択できるような声かけを行っております。また、思い出を引き出すような会話を心がけております。ご自分の思いをうまく伝えられない方には、表情や仕草などを観察したり、ご家族様に聞くなどをして思いを推し量っております。	ケアプランの見直しに応じ3ヶ月ごとにアセスメントを実施し、ニーズの把握に努めています。また、日々の入居者の思いや何気なく発した言葉などを個人記録に明記し、入居者の主体的な思いや要望をケアプランの見直しに活かすようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に本人やご家族様に話しを伺ったり、担当されていたケアマネージャーさんより電話や書式にて生活歴やご家族様の意向を伺い、情報収集を行っております。知り得た情報は職員間で共有し、なるべく同じような環境で過ごせるよう支援をしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活記録の中に職員との会話や日々のご利用者様の様子を記入しております。看護師からの連携事項や、一日のご利用者様の様子を職員間で引継ぎ、情報共有を行い、ご利用者様の現状把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご利用者様、ご家族様の希望を聞き入れながら医療関係者の意見を取り入れて三ヶ月ごとのカンファレンス、六ヶ月ごとのケアプランを作成しております。支援方法等、変化があった時はその都度作成をしております。	ケアプランの短期目標に沿って3ヶ月ごとにモニタリングを実施し、また、カンファレンスで検討して次のケアプランに反映しています。入居者の状況の変化に応じ随時見直しも実施し、入居者・家族に計画の内容を説明して同意のサインをもらっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランにナンバリングを行い、ケアプランに沿った計画ができるように努めております。生活記録のファイルに作成したケアプランの用紙を入れ、必要なサービスの確認を行い、職員間で情報共有をしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人様の意向、ご家族様の同意を得ながら買い物を楽しんで頂いております。また、通院や送迎等必要な支援にも個々の満足を高められる様、臨機応変に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域でのお祭りやイベントに参加しております。また、事業所でのイベントに地域の方々のご協力を頂いたり、地域の集いに参加し、意見交流する機会を設けております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的な往診を受け、体調の変化等の相談を行いながら指示を頂いております。専門的な受診が必要な時は、ご家族様の協力を頂いたり、ご家族様の同行が困難な場合は職員が通院支援を行っております。	本人及び家族の同意を得て協力医療機関の医師がかかりつけ医となっております。月2回の往診があります。日常の健康管理は専属の看護師が行っています。週1回、歯科医の往診もあります。かかりつけ医とは24時間連絡が取れる体制となっております。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に2日の訪問があります。ご利用者様ごとに診て頂きたい事案を看護記録用紙記入し、日々の気付きを残し、看護師にアドバイスを受けています。看護記録を作成し、職員間で共有しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院した際、看護サマリーを作成し、情報交換をしております。病院に様子を見に伺い、その都度様子を伺い、退院に向けた話し合いに参加させていただいております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様に現状を説明し、同意書を交わし、今後の方針を主治医、看護師、管理者、職員が連携を密に取りながら対応を行っております。	入居時に本人と家族の意向を確認しています。また重度化や終末期に当たっては、状況に応じて医師の判断で家族へケアプランの提案を行っています。看取りの体制は整っており、その際は家族と共に医師、看護師、事業所が丸となった支援を行っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生時には、まず何をすべきか、オンコール対応策を作成し、毎月の会議にて再確認を行い職員全員が把握できるようにしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ご利用者様の安全確保ができるよう、夜間の想定を含め、年2回の避難訓練を実施しております。避難場所には近隣のコミュニティーセンターを利用させていただき事を自治会より了承を頂いております。	避難訓練は年2回実施しています。内1回は海老名消防署の協力で通報・初期消火訓練です。3日分の水と食料の他、ラジオやバーベキューセットなども備蓄しています。避難場所は2軒隣のコミュニティーセンターとなっております。安心感があります。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩として常に誠意を持って誠実に接する事を心がけてケアを行っております。一人ひとりの得意な事を把握し、能力を発揮して頂くよう支援を行っております。また、不快な思いを感じさせないような声かけを心がけております。	利用者一人ひとりがその人らしく日々の生活が送れるよう支援しています。そのために、否定的な言葉は避け、笑顔で接するよう努めています。利用者への対応で気付いたことは職員同士また管理者との間で指摘し合い共有しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様が何でも話せる環境作りに努めており、ご自分で選択できるような声かけを行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調や様子の変化見逃さないよう職員間で確認を行い、その日、その時のご本人の意向を優先し、ご利用者様のペースに沿って一緒に生活を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日の体調や様子を伺いながら、ご本人の意向を優先し、ご利用者様がして頂きたい内容に沿えるような支援を行っております。鏡の前で髪を整えたり、髭剃りを行ったりできるよう支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューと食材は業者に依頼し調理、盛り付け、配膳、下膳など一緒に行っています。ご利用者様の要望あればメニュー変更も可能です。菜園の野菜を一緒に収穫し、調理を行っています。同じテーブルを囲みながら楽しく食事ができるよう支援を行っています。	業者が納入した食材を使って職員が調理をしています。入居者が一緒に手伝うこともあります。箸・茶碗・椀・湯呑みは持ち込みです。菓子パンを小分けにして好きなものを食べるパンバイキングを行ったり、時には回転寿司にも出かけています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人ひとりの状態にあった食事、水分摂取量を確認し、チェック表に記入しながら職員間で情報共有しております。しっかりと食事や水分が摂取出来る様に一人ひとりの好みや症状にあった提供を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後声かけを行い、口腔ケアを行っております。仕上げは職員が確認し、介助を行っております。口腔ケアの介助が必要な方は口の中の状態を常に把握し、職員同士情報共有を行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	「In/Outチェック表」により水分量・食事量と排泄パターンを一覧表に記録し、声かけによる前誘導を行いながら自立排泄が行えるように支援しております。	利用者の排泄パターンを早期に把握するよう努めています。さりげない声かけで誘導し排泄の自立支援をしています。また浴室へ出入り可能な洗い場付きのトイレがあり、プライバシー確保にも配慮しています。また夜間用にポータブルトイレを置いている居室もあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便チェック表を記入していき、排泄管理を行っております。自然な排便が行えるように毎朝体操を行ったり、歩いて腸内を活性化させております。またはちみつを飲用していただき、水分摂取量に注意を払いながら支援を行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本的に週に2回の入浴を支援しております。毎日入浴が可能であり、希望に応じて調整しながら対応しております。入浴の際には職員との会話も楽しんでいただけるように努めております。	最低週2回午前中の中の入浴が基本です。浴室は大型のユニットバスです。脱衣場は乾燥室も兼ねており、ヒートショックにも対応しています。入浴時の湯はかけ流しです。入浴しない利用者は、足浴をして水虫予防に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人の意思で過ごす場所を選択して頂き休んで頂いております。過ごされる空間が快適に安心して過ごせるようプライバシーに配慮し、環境調整を確保しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方されている服薬の用法を往診時に主治医又は看護師から説明して頂き、薬剤師にも質問できる機会があります。服薬に追加や変更があった際、そのご利用者様の様子を記録に残し、職員間で周知し、情報共有を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの得意な事、嗜好の好みを把握し、日々の生活に取り入れ役割を感じてもらえるよう支援を行ったり、趣味を通じて他者様との交流を楽しんでいただいております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	週に2～3回の外出の機会があり、事業所近くの神社やお寺が散歩コースです。車でのドライブや外食、買い物などの支援も頻繁に行っています。事業所内での菜園では季節の野菜の種植えから収穫までの流れを行い、戸外の楽しみも充実しています。	日常は散歩をメインとしています。近くの神社や寺院、また海老名サービスエリアまでが主な散歩コースです。体調に合わせて施設の敷地内を歩き、外気に触れて気分転換をする時もあります。車や電車・バスを利用した遠出や、希望があれば買い物に同行することもあります。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物や外食には職員が付き添います。ご本人が自らお会計をすることにより、お金に対する大切さを感じて頂く、以前行っていた動作を忘れない様に支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様やご家族様からの要望に沿い、電話をつないで会話を楽しまれております。また、年賀状や絵手紙などの季節のお手紙に一言記入していただき、返信して頂くよう支援を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	食堂兼リビングは自然の光が入り落ち着いた雰囲気になっています。その月の季節感が感じられる手作りカレンダーや行事写真の掲示を行い、季節を感じていただいています。リビングには温度計を置き、季節に合った適切な温度で過ごして頂ける配慮をしています。	玄関から2階へ続く階段は吹き抜けになっており開放感があります。随所に職員手作りの季節感あふれる折り紙を飾っています。自然光が差し込み、明るさを感じます。また1階は直接ウッドデッキに出ることが出来、手軽に外気浴を楽しむことが出来ます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ゆったりとくつろげる空間としてソファを用意しています。テレビを見ながら会話を楽しんで頂いています。お一人でゆっくりと過ごされたい方はリビングから少し死角になる場所でテレビをご覧になりながらゆっくり過ごされる空間の提供を行っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室にはエアコン・ベッド・クローゼットを備え付けております。使いたれた家具や親しみのある物を居室に置く事でご自分の為の空間だと認識して頂いております。入口には顔写真付きの表札を貼り、ご自分の部屋だと認識できるようにしています。	1・2階とも全室南向きで日差しが部屋全体に届く造りになっています。晴れた日に、カーテンを開ければそのまま布団干しが出来ます。掃除は日勤の職員が毎日行なっています。使い慣れたタンスや椅子を置き、その人らしい居室となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	更衣、排泄、入浴などその人が出来る事を把握して自立して行為をおこなえるよう声かけ等で上手く導き、支援を行っております。その人が持つる能力を最大限に活かせるよう職員間で情報共有を行っております。		

事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念を掲げたクレドカードを毎朝の申し送り後、声を出して読むことにより、職員同士確認を行いながら日々の業務に取り入れ、浸透するように努めております。また、全体会議、フロア会議にての落とし込みを行っております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に加入し、回覧板を頂く事で、地域での催し物や他の施設の行事などに参加させて頂いたり、ホーム内のレクの参加の声かけを行っております。コミュニティーセンター様、自治会様からは良く椅子などをレンタルし、レクへの参加のお誘いをしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	職員に認知症について日々のケアの中や全体会議、フロア会議などで勉強会を設けて実践内容を学び、いつでも活かせるように理解度を深めております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	自治会の役員、民生委員、海老名市役所高齢介護課、地域包括支援センター、職員、ご家族、ホーム職員で運営推進会議を開催し情報交換や助言を頂きながら行っております。また、市議会議員の方からも参加したいとお声を頂いております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の案内状と議事録の作成時には直接海老名市役所へ出向き、ホームの状況を説明させていただいております。また、市役所で行う合同説明会には必ず参加し、情報共有を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	門扉を開放しておりますので、玄関は施錠をしております。1階と2階のフロアを自由に行き来できるようにフロアの出入り口の施錠は行っておりません。3ヵ月に一回身体拘束に関しての会議を開催し、職員に周知をしております。身体拘束は行っていません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月全体会議、フロア会議を開催し、虐待について検討を行っております。管理者はホーム内での虐待の見逃しがないかを日々確認しております。小さな打ち身も見つけた時はヒヤリハット報告書を作成し検討、周知を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を必要とするケースには、管理者が対応をしております。必要に応じて随時職員に説明を行い、利用者の支援に結びつけております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には時間をかけて契約書、重要事項説明書を説明し、不安や疑問を伺い回答させていただいた上でご理解、納得をしていただき、同意書をいただいております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会において意見をいただいております。来訪された際やお電話でもご意見を頂いております。頂いた意見は全体会議の議題として検討を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	随時、職員に声を掛け、傾聴を行っております。毎月1階と2階のフロア会議を行い、意見や提案を発言していただいております。また、職員が何でも意見を言えるような関係を築いております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員のストレスや疲労の要因に気を配りながら声かけを行い、日々の様子に注意を払っております。また、職員のやりがいに繋がるようにパート職員の社員昇給も行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修の情報集めに努め、職員の力量に応じ研修参加を促し、勤務状況を調整しています。介護技術の向上においてはミーティングで説明を行ったり、実践の中で一緒に取り組みながら指導を行っております。また疑問を口に出せる環境作りを行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	近隣のグループホームの催し物や高齢者施設での催し物に参加させていただき、同業者との交流を行っております。グループホームの管理者同士が気軽に意見交換できるよう努めております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	御入居までの生活状態の把握とご本人の意向、思いを考慮したケアを行い、安心して生活して頂けるように職員との関係づくりを大切に、何でも言ってもらえるような関係作りを行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様が求めているものや苦勞、困っていること、これまでの経緯についてゆっくりと話を伺い、事業所としてはどのような対応ができるか、その都度色々な情報を伝えながらご家族様との信頼関係づくりを行っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様やご家族様の思い、その時の状況等を確認し、安心して頂き、納得してご利用していただけるよう可能な限り柔軟なサービスの情報提供を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご入居者様を人生の先輩という共通の認識のもと、日々の生活で喜怒哀楽を共にし、信頼関係を築けるように努めております。できる事を奪わず、出来る事はご自身で行って頂き、出来ない事をさり気なくお手伝いさせていただいております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	居室担当を決め、職員がご家族様に日々の様子や心身の変化を手紙にしたため、毎月お伝えしていく事でご家族様と情報の共有を行っております。ご家族様来訪時には誰もがご家族様に状況を説明できる関係を築いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご入居者様が築き上げてきた交流関係を把握していき、訪問時には楽しい時間を過ごして頂けるようにしております。また、ご入居前に行っていた活動もそのまま継続できるよう支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活で楽しい時間を過ごしていただく為、ご利用者様同士の関係性を職員が共有し、レクリエーションや食事などお席へ誘導する際には親しいご入居者様同士が近くのお席になるように努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他の事業所に移られたご入居者様が不安なく継続性を持って生活できるようにアセスメントを細かく作成し、情報提供を行い、連絡があった際は速やかに対応して連携できるように努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様をご自分で選択できるような声かけを行っております。また、思い出を引き出すような会話を心がけております。ご自分の思いをうまく伝えられない方には、表情や仕草などを観察したり、ご家族様に聞くなどをして思いを推し量っております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に本人やご家族様に話しを伺ったり、担当されていたケアマネージャーさんより電話や書式にて生活歴やご家族様の意向を伺い、情報収集を行っております。知り得た情報は職員間で共有し、なるべく同じような環境で過ごせるよう支援をしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活記録の中に職員との会話や日々のご利用者様の様子を記入しております。看護師からの連携事項や、一日のご利用者様の様子を職員間で引継ぎ、情報共有を行い、ご利用者様の現状把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご利用者様、ご家族様の希望を聞き入れながら医療関係者の意見を取り入れて三ヶ月ごとのカンファレンス、六ヶ月ごとのケアプランを作成しております。支援方法等、変化があった時はその都度作成をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランにナンバリングを行い、ケアプランに沿った計画ができるように努めております。生活記録のファイルに作成したケアプランの用紙を入れ、必要なサービスの確認を行い、職員間で情報共有をしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人様の意向、ご家族様の同意を得ながら買い物を楽しんで頂いております。また、通院や送迎等必要な支援にも個々の満足を高められる様、臨機応変に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域でのお祭りやイベントに参加しております。また、事業所でのイベントに地域の方々のご協力を頂いたり、地域の集いに参加し、意見交流する機会を設けております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的な往診を受け、体調の変化等の相談を行いながら指示を頂いております。専門的な受診が必要な時は、ご家族様の協力を頂いたり、ご家族様の同行が困難な場合は職員が通院支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に2日の訪問があります。ご利用者様ごとに診て頂きたい事案を看護記録用紙記入し、日々の気づきを残し、看護師にアドバイスを受けています。看護記録を作成し、職員間で共有しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院した際、看護サマリーを作成し、情報交換をしております。病院に様子を見に伺い、その都度様子を伺い、退院に向けた話し合いに参加させていただいております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様に現状を説明し、同意書を交わし、今後の方針を主治医、看護師、管理者、職員が連携を密に取りながら対応を行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生時には、まず何をすべきか、オンコール対応策を作成し、毎月の会議にて再確認を行い職員全員が把握できるようにしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ご利用者様の安全確保ができるよう、夜間の想定を含め、年2回の避難訓練を実施しております。避難場所には近隣のコミュニティーセンターを利用させていただき事を自治会より了承を頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩として常に誠意を持って誠実に接する事を心がけてケアを行っております。一人ひとりの得意な事を把握し、能力を発揮して頂くよう支援を行っております。また、不快な思いを感じさせないような声かけを心がけております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用様が何でも話せる環境作りに努めており、ご自分で選択できるような声かけを行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調や様子の変化見逃さないよう職員間で確認を行い、その日、その時のご本人の意向を優先し、ご利用者様のペースに沿って一緒に生活を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日の体調や様子を伺いながら、ご本人の意向を優先し、ご利用様がして頂きたい内容に沿えるような支援を行っております。鏡の前で髪を整えたり、髭剃りを行ったりできるよう支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューと食材は業者に依頼し調理、盛り付け、配膳、下膳など一緒に行っています。ご利用者様の要望あればメニュー変更も可能です。菜園の野菜と一緒に収穫し、調理を行っています。同じテーブルを囲みながら楽しく食事ができるよう支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人ひとりの状態にあった食事、水分摂取量を確認し、チェック表に記入しながら職員間で情報共有しております。しっかりと食事や水分が摂取出来る様に一人ひとりの好みや症状にあった提供を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後声かけを行い、口腔ケアを行っております。仕上げは職員が確認し、介助を行っております。口腔ケアの介助が必要な方は口の中の状態を常に把握し、職員同士情報共有を行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	「In/Outチェック表」により水分量・食事量と排泄パターンを一覧表に記録し、声かけによる前誘導を行いながら自立排泄が行えるように支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便チェック表を記入していき、排泄管理を行っております。自然な排便が行えるように毎朝体操を行ったり、歩いて腸内を活性化させております。またはちみつを飲用していただき、水分摂取量に注意を払いながら支援を行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本的に週に2回の入浴を支援しております。毎日入浴が可能であり、希望に応じて調整しながら対応をしております。入浴の際には職員との会話も楽しんでいただけるように努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人の意思で過ごす場所を選択して頂き休んで頂いております。過ごされる空間が快適に安心して過ごせるようプライバシーに配慮し、環境調整を確保しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方されている服薬の用法を往診時に主治医又は看護師から説明して頂き、薬剤師にも質問できる機会があります。服薬に追加や変更があった際、そのご利用者様の様子を記録に残し、職員間で周知し、情報共有を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの得意な事、嗜好の好みを把握し、日々の生活に取り入れ役割を感じてもらえるよう支援を行ったり、趣味を通じて他者様との交流を楽しんでいただいております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	週に2~3回の外出の機会があり、事業所近くの神社やお寺が散歩コースです。車でのドライブや外食、買い物などの支援も頻繁に行っています。事業所内での菜園では季節の野菜の種植えから収穫までの流れを行い、戸外の楽しみも充実しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物や外食には職員が付き添います。ご本人が自らお会計をすることにより、お金に対する大切さを感じて頂く、以前行っていた動作を忘れない様に支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様やご家族様からの要望に沿い、電話をつないで会話を楽しまれております。また、年賀状や絵手紙などの季節のお手紙に一言記入していただき、返信して頂くよう支援を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	食堂兼リビングは自然の光が入り落ち着いた雰囲気になっています。その月の季節感が感じられる手作りカレンダーや行事写真の掲示を行い、季節を感じていただいています。リビングには温度計を置き、季節に合った適切な温度で過ごして頂ける配慮をしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ゆったりとくつろげる空間としてソファを用意しています。テレビを見ながら会話を楽しんで頂いています。お一人でゆっくりと過ごされたい方はリビングから少し死角になる場所でテレビをご覧になりながらゆっくり過ごされる空間の提供を行っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室にはエアコン・ベッド・クローゼットを備え付けております。使いなれた家具や親しみのある物を居室に置く事でご自分の為の空間だと認識して頂いております。入口には顔写真付きの表札を貼り、ご自分の部屋だと認識できるようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	更衣、排泄、入浴などその人が出来る事を把握して自立して行為をおこなえるよう声かけ等で上手く導き、支援を行っております。その人が持つ能力を最大限に活かせるよう職員間で情報共有を行っております。		

